

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成20年1月31日(2008.1.31)

【公開番号】特開2006-174280(P2006-174280A)

【公開日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【年通号数】公開・登録公報2006-025

【出願番号】特願2004-366467(P2004-366467)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/30 (2006.01)

H 0 3 M 7/30 (2006.01)

H 0 4 N 7/01 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 7/133 A

H 0 3 M 7/30 Z

H 0 4 N 7/01 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月12日(2007.12.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

動画像データを処理する画像処理装置であって、
 動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出手段と、
 前記動画像データの 1 つのフレーム内の画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定手段と、
 前記決定手段が決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理手段と
 を具備することを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記決定手段は、前記欠陥部分の位置情報に応じて前記優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記欠陥部分の位置情報は、前記画像の中心からの距離を示す情報であることを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記欠陥部分が、前のフレームにおいて補間処理を行う対象となった位置と同じ位置に存在するか否かを判定する判定手段を更に具備し、
 前記決定手段は、前記判定手段の判定を用いて優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記決定手段は、前記画像における人物の顔の領域に含まれる欠陥部分を優先して優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記決定手段は、焦点の合致している領域に含まれる欠陥部分を優先して優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記決定手段は、前記欠陥部分の広さに応じて前記優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記決定手段は、フレーム間の前記欠陥部分を含む領域の動きの大きさに基づいて優先順位を決定することを特徴とする請求項 7 に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記決定手段は、前記画像の空間周波数に関する情報に基づいて優先順位を決定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

動画像データを処理する画像処理装置を用いた画像処理方法であって、

動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出ステップと、

前記動画像データの 1 つのフレームの画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定ステップと、

前記決定ステップで決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理ステップと

を有することを特徴とする画像処理方法。

【請求項 11】

動画像データを処理する画像処理方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、

、

動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出ステップと、

前記動画像データの 1 つのフレームの画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定ステップと、

前記決定ステップで決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理ステップと

をコンピュータに実行させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この発明は、上述した課題を解決すべくなされたもので、動画像データを処理する画像処理装置であって、動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出手段と、前記動画像データの 1 つのフレーム内の画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定手段と、前記決定手段が決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理手段とを具備することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

また、本発明は、動画像データを処理する画像処理装置を用いた画像処理方法であって、動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出ステップと、前記動画像データの1つのフレームの画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定ステップと、前記決定ステップで決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理ステップとを有することを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

また、本発明は、動画像データを処理する画像処理方法をコンピュータに実行させるプログラムであって、動画像データから欠陥部分を検出する欠陥検出ステップと、前記動画像データの1つのフレームの画像の欠陥部分に対して優先順位を決定する決定ステップと、前記決定ステップで決定した前記優先順位に応じて、前記欠陥部分の補間処理を行う補間処理ステップとをコンピュータに実行させるためのプログラムである。